

PCとiPhone向けに、「開国博Y150」の 動画情報の配信実験を実施

時間軸編成で「番組」を提供、PC向けには生放送も

tvk（株式会社テレビ神奈川）では、8月1日（土）より9月30日（水）まで、PCとiPhoneの視聴者に向けたインターネット放送の試験放送事業「.tvプロジェクト」（ドット・ティーヴィー・プロジェクト）を開始します。

インターネット放送では、オンデマンドの映像コンテンツや生中継の映像を組み合わせ、テレビ番組のようにタイムテーブルに沿った「番組」を編成し、コンテンツ配信を行います。

また、iPhone向けの配信では、株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都港区、以下Wi2）が今年7月1日より横浜都心臨海部で提供している無線LANインターネット接続サービス「Wi2 300」を使って、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPod touchで接続することにより、iPhoneに最適化された番組が見られるほか、利用者の位置に連動してイベント情報などのコンテンツを閲覧できる仕組みを提供します。

放映するコンテンツは、9月27日（日）まで行われている開国博Y150「ベイサイドエリア」の情報、横浜市民からの提供映像、横浜市からの広報情報などのほか、tvk本社ビル1階の「ヨコハマNEWSハーバー」や各種イベント会場などからの生放送、企業スポンサーなどによるCMなど。

◆「.tvプロジェクト」インターネット試験放送URL <http://tvk-yokohama.tv/>

▽特徴－1：時系列にそった番組編成で24時間映像コンテンツを配信

tvkが提供するインターネット放送として、番組を時系列で編成して放映します。編成には、新たにEDPSシステムを開発・導入し、インターネットで映像コンテンツやCMを配信するほか、デジタルサイネージやワンセグ放送への活用も検討していきます。

▽特徴－2：iPhone 3GS、iPhone 3G、iPod touchに最適化したコンテンツを提供

Wi2は、横浜ベイエリアでWi-Fiサービスを展開しており、開国博Y150会場周辺のほか、横浜スタジアム、元町、赤レンガ倉庫、伊勢佐木町、中華街などにアクセスポイントをおよそ100か所に設置しています。利用者には接続しているアクセスポイント周辺のイベント情報を提供します。

【Wi2 300ホームページ <http://300.wi2.co.jp/>】

▽特徴－3：多くの市民や企業が番組のコンテンツづくりに参加できる

放送する動画コンテンツは、市内で活動する「市民メディア」の団体や、「開国博Y150」の参加団体、NPO法人のほか、横浜市が展開する映像文化都市政策の関連事業「ヨコハマ国際映像祭」などと連携して制作していきます。コンテンツは、オンデマンドでも提供していきます。

なお、本事業は、財団法人ニューメディア開発協会からの委託事業です。tvkのほか、以下の企業・団体がコンソーシアムを組んで実施しています。

株式会社ユニゾンシステムズ（本社：福岡県福岡市）
株式会社 E-TimesTechnologies（本社：東京都港区）
有限会社アート開発（本社：東京都台東区）
インフォ・ラウンジ合同会社（本社：横浜市都筑区）
NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ（横浜市中区）

また、実施にあたっては、横浜市共創推進事業本部との連携により、横浜市の行政情報の提供や、官民連携による地域情報流通のモデル事例づくりなどに取り組んでいきます。

tvkは、本事業を通じて、地域情報の編集・配信に於けるクロスメディア展開や、さまざまなニーズに対応する広告展開のプラットフォームメディアの開発を行っていきます。



この事業は競輪の補助金を受けて実施するものです。